石巻専修大学
●「石巻専修大学」ホームページ● http://www.isenshu-u.ac.jp

代表電話番号
0225(22)7711
入試専用FAX
0225(22)7809

「復興ボランティア学」がスタート

東日本大震災後の石巻で復興に力を尽くしたボランティア団体のリーダーを講師に招く「復興ボランティア学」が、幅広い市民の注目を浴びてスタートした。理工・経営学部の共通科目である「総合科目Ⅰ」（前期開講）の授業で、ボランティアの役割や活動について理解を広めたいと今回は一般市民にも無料で開放。事前の申し込みもいらず、1回だけの聴講もできるため、毎回多くの市民が学生と共に講義に聞き入っている。

講師は支援団体 ◇ リーダーの14人

講師は、震災直後から現在までさまざまな分野で支援活動を行っている団体のリーダー14人。8月3日まで全16回にわたる講座で、毎回一人ずつ登壇する。現場での実践につながる話が聞けるだけでなく、それぞれの団体の活動分野が異なるため、ボランティアの全体像をつかめるのが特徴だ。

開講した4月16日には、山崎泰央経営学部教授の講義に約200人が詰めかけた＝写真。テーマは「復興ボランティアによる社会的資本の形成」。山崎教授は「復興には地域の住民の自発的な行動が必要です。各団体の活動を知り、参加してほしい」と呼びかけた。

5月14日までに中川政治（みらいサポート石巻専務理事）、魚谷浩（前オンザロード宮城代表）、西村真由美（JENプログラムオフィサー）の3人が登壇。活動報告や現在の活動、今後の復興支援の展望などについて、ボランティア活動から見えてきたことなどを語った。

「自分が経験した阪神淡路大震災で何もできなかったことがボランティア活動の出発点だった」「石巻の素晴らしさを発信していくことが今後の課題」と話す講師もいた。

また、近く行われる海浜清掃活動のボランティアに関心を寄せた受講生からは参加の手が挙がったりした。

問い合わせ窓口を務める関根慎吾経営学部教授の元には、すでに数件の電話やメールがあり、関根教授は「仙台の社会福祉協議会やドキュメント映画の制作に携わる方からの問い合わせなどもあった。関心の広がりとともに、震災にかかわった多くの人が今も復興への道筋を模索していることが感じられる」と語っていた。

市民にも開放 地域の期待も

本学と高大接続事業の協定を結ぶ石巻商業高校では、高大接続公開授業として位置付ける。受講し単位を取得すれば、入学後に単位認定されることもあり、現在8人が受講している。また、ボランティア活動に関心を持つ学外の一般の方々の受講も見られ、同講座に寄せる地域の期待と評価は高い。

毎週火曜日5限目（16時50分～18時20分）に4号館4201教室で開講。8月3日にはシンポジウムを開催する。

今後の講座日程は▽5月21日・渡辺一馬（ワカツク代表理事）▽同28日・松村豪太（ISHINOMAKI 2.0代表理事）▽6月4日・西本健太朗（みらいサポート石巻・復興応援隊）▽同11日・門馬優（TEDIC代表）▽同18日・柴田滋紀（にじいろクレヨン代表理事）▽同25日・小林深吾（ピースボート災害ボランティアセンタープログラムオフィサー）▽7月2日・渡部慶太（石巻復興支援ネットワーク前事務局長）▽同9日・長尾彰（プロジェクト結コンソーシアム理事長）▽同16日・河野心太郎（前MAKE THE HEAVEN め組リーダー）▽同23日・村島弘子（移動支援Rera代表）▽同30日・吉澤武彦（日本カーシェアリング協会代表理事）

＝◇＝

講座の様子はFacebookの復興ボランティア学（https://www.facebook.com/fukkouv）ページをご覧ください。

経営学部・山崎ゼミのプロジェクト
東日本再生プログラムの助成対象に

東日本大震災の被災地の地域再生と生活再建に主体的にかかわる大学生・大学院生らを助成する「住友商事　東日本再生ユースチャレンジ・プログラム―活動・研究助成―」の2013年度助成対象に、経営学部・山崎泰央ゼミの「被災地の子どもと学生をつなぐ『にこにこプレーパーク』プロジェクト」が採択された。助成金は50万円で、期間は14年3月31日までの1年間。

山崎ゼミでは大学周辺の仮設住宅の支援を行っており、これまでに収入支援や交通支援などを実施。昨年からは大学の敷地を使った「にこにこプレーパーク」という子どもの遊び場づくりに取り組み、「クリスマス会」（本紙第508号既報）を開催するなど着実に歩みを進め、この実績が評価された。

4月14日、東京都中央区の住友商事本社で行われた贈呈式には山崎ゼミの佐藤夏実さん（経営4・福島県福島南高）と大畑普子（あきこ）さん（経営3・福島県相馬高）が出席し、助成金の贈呈書を受け取った。

プロジェクトリーダーの大畑さんは「仮設住宅の集会所で子どもたちと遊んでいた小さな場が、いつの間にか大学で石巻全域の子どもたちと遊ぶ大きなイベントに発展しました。今回の採択を機に、さらに発展させていきたい」と抱負を語った。

▲　助成金の贈呈書を受け取る大畑さん（右）

花見交流会 300人楽しむ

本学キャンパスの桜が満開を迎えた4月18日、学生会主催の「花見交流会」が開催された＝写真。

交流会は、新入生へのサークル勧誘と、サークル間の交流の機会にと、学生会が企画。学生ら約300人が参加した。

キャンパスにはソメイヨシノのほかにサトザクラやカンヒザクラ、シダレザクラなど650本の桜が植えられ、石巻市の隠れた名所となっている。3号館南側芝生では学生会と石鳳祭実行委員会が用意した豚汁や焼きそばなどが振る舞われ、学生たちは、見事に咲き誇った桜を楽しんだ。

開式にあたり、渡辺和洋学生会長（理工3・福島県日本大学東北高）は「交流会を通してサークル活動の魅力を伝えたいと思います。大いに楽しんでください」とあいさつした。

また、開花のタイミングにあわせて、各学科、研究室、ゼミなどによる花見会も開催された。

優勝争いを展開　硬式野球部

4月13日に開幕した南東北大学野球春季リーグ戦で、硬式野球部がし烈な優勝争いを展開している。

第4週（5月4、5日開催）を終え、7戦全勝で東日本国際大と同率首位。優勝の行方は第5週（5月18、19日、福島県いわき市・平野球場）に行われる直接対決で決まる。

今季は、ここまで4勝のエース・笠原拓海（経営4・山形県新庄東高）が4完封（5回コールド1試合を含む）と絶好調。また、堅い守備陣に支えられ、蛇口由将（経営3・岩手県一関学院高）、高橋由気（経営3・宮城県宮城水産高）も好投しており、安定した戦いを見せている。

東日本国際大戦では厳しい戦いが予想される。ぜひ球場に足を運び、選手たちにエールを送ってほしい。

▲　チームを引っ張る折笠洋平主将（経営４・福島県若松商業高）

開放講座　6月6日から

みやぎ県民大学「石巻専修大学開放講座」が6月6日から開講される（7月25日まで。毎週木曜日、全8回。19時～20時30分）。

今年度の統一テーマは「今、人間として生きるとは？」。講師は山崎省一人間学部長ら本学教員が担当。人間としての生き方に焦点をあて、石巻地域が復旧から復興へと歩みはじめるなか、新しい石巻を創造するための学びの場を提供する。

問石巻専修大学事務課☎0225(22)7716 メール kaiho@isenshu-u.ac.jp

2013年度　育友会支部懇談会　開催日程・会場

開催地	開催日	会場
石巻	6月16日(日)	石巻専修大学
	10月12日(土)	＊6月16日は定期総会を同時開催
仙台	7月 7日(日)	TKP仙台カンファレンスセンター
東京	7月 7日(日)	TKP銀座カンファレンスセンター
秋田	7月21日(日)	秋田県社会福祉会館
新潟	7月21日(日)	新潟東急イン
青森	7月28日(日)	ホテル青森
盛岡	7月28日(日)	ホテルメトロポリタン盛岡
大崎	9月 1日(日)	古川商工会議所
山形	9月 1日(日)	山交ビル
北上	9月 8日(日)	さくらホール
福島	9月 8日(日)	福島ビューホテル